

昨年度より、伊平屋中学校で新しい取り組み「SDG s パスポート」を
スタートさせています。



保護者の皆様、地域の皆様も子どもたちと
一緒に取り組んでみませんか(^_^)?



次の意見は子どもたちから挙がった「SDG s パスポート」に関するものです。ご覧下さい。

○どんなSDG sの取り組みや、社会活動・ボランティア活動をしてみたいと思いますか？自由に書いてみよう。

地域ゴミ拾い
ゴミ拾い 挨拶運動
興味はある
海浜清掃とかやってどんなゴミがあるのかとか調べてみたい
朝学校に来るときにゴミ拾いをしながら来る
海のゴミ拾い、
社会・地域に貢献できるならなんでもいい。
ごみひろい
環境保護にかかわる活動や子供たちのお世話、遊び相手をしたい
自然の豊かさを守っていく活動
海岸清掃



○今、行っている、朝の活動（あいさつ）（清掃活動）をSDG sの取り組みや社会活動・ボランティア活動として認めてもらうにはどのような取り組みにしたらいいと思いますか？あなたの考えを書いてみよう。

月に一回住んでる地域のごみ拾い
地域の人にとって役にたつ取り組み
自分で積極的に取り組む
学校みんなで学校の周りを清掃する
毎日朝早くから参加して30ボランためる
みんなで協力して取り組む
・地域の人と今よりも関わりを増やしていけば、いつか認められると思う。
挨拶運動
一週間に一回一時間清掃活動をする
その人が何回やっていたかなど毎日その人が記録して50分になったらパスポートに書く
できるだけのごみなどはかたづけたい

○朝の活動（あいさつ）（清掃活動）の名称を考えてみてください。

特になし 朝活 SEISOタイム
地球を守る伊平屋中 SDG s タイム
挨拶運動 地域おこし活動
朝活 てるうータイム

○伊平屋中ならではのボランティアグループ名（活動団体名）を考えてみてください。

地球を守ろうプロジェクト 伊平屋ボランティア
特になし 伊平屋っこSDGs
伊中清掃団体 てるしのボランティアグループ(てるぼん)

○詳細は、家庭にて子どもたちに、聞いてみて下さい。 SDG s 窓口 教頭 高良直人



<SDGs パスポートとは？>

ユネスコ協会が行っているSDGsに関する取り組みです。
UNESCO憲章前文の「戦争は人の心のなかで生まれるものであるから、人々の心の中に平和の砦を築かなければならない」という理念の下、地域に根差した様々な活動を行っています。

その中の活動の一つ「SDGs パスポート」については、ボランティア活動のスタンプ帳で、ボランを30以上ためて申請すると沖縄県ユネスコ協会から認定・表彰されます。

このパスポートは、平和で持続可能な社会を実現するために、未来を担う児童・生徒のボランティア活動を応援するものです。地域でのボランティア活動を通して人との“出会い”や自然と社会の“つながり”を広げ、地域の課題解決のために、自ら考えて行動して、成長することを目標としています。

また、SDGsに対する取り組みにも目を向けさせて、地域から地球規模の課題についてもアンテナを広げて「自分事として捉えて、自分自身に何が出来るのか？」を考えさせるための活動にもつながります。

伊平屋中学校の子どもたちに、SDGs パスポートを活用することにより、もっともっと日頃の活動へのモチベーションを上げたり、周囲へのアンテナを広げて、地域・社会の課題解決に向けた活動の輪が広がればいいな～と、期待をしています。ボランティア活動にとどまらず、広い視野を持った地域活動への学びに、つなげていただけたらと考えています。



“ボラン” カウントの仕方

○ “ボラン” とはボランティアのボランを意味しています。

○ ボランティア50分で1 ボランとしてカウントします。

保護者や地域の方々をお願いしたいこと（ごく一部です）

- 子どもたちと一緒に朝活をしませんか？
（朝のあいさつ運動を地域向けに発信する）
（朝の清掃活動を一緒に行う）
- 子どもたちの声に耳を傾ける。
（子どもたちが、行いたい活動に協力する）
- 地域の課題について考える会を開く。
（子どもたちと一緒に話す機会をつくる）
（子ども議会みたいなものを開催できるといいですね…）

